

つくばみらい地域の交通の発展と住宅地の拡大

(2年3組5班)

はじめに

私達は伊奈地域がどのような過程で現在に至ったのかについてまとめました。

発展の過程および歴史的背景

(江戸時代～)

- 江戸時代の関東郡代、伊奈忠次公による開発と治水事業。
- 伊奈流という治水技術による稲作を中心とした農業地域の形成。

(明治時代～)

- 町村制(1890年)・町制(1985年)の施行による伊奈村、伊奈町の成立。

(平成～現代)

- つくばエクスプレス(TX)の開発、みらい平駅の開業(2005年)。
- 伊奈町と谷和原村の合併によるつくばみらい市の誕生。(2006年)
- みらい平駅を中心としたみらい平地区の住宅地としての新都市開発。

結論

つくばみらい地域の発展と成り立ちは様々な歴史的背景があり、江戸時代は伊奈流という治水技術による稲作を中心とした農業地域の形成がされ、さらに2度にわたる探検で樺太を島であることを確認した間宮林蔵が輩出された。明治には伊奈村の成立、平成から令和にかけてつくばエクスプレスの開発、みらい平駅の開業、さらに伊奈町と谷和原村の合併によるつくばみらい市の誕生やみらい平駅を中心としたみらい平地区の住宅地としての新都市開発などが行われた。現在のつくばみらい市はつくばエクスプレスの開業によってアクセスが良くなり、人口や住宅地、商業施設が増え昔ながらの農村地域からベッドタウンとしての役割を持つ市へと変化している。

つくばみらい市の偉人

間宮林蔵(1780～1844)

出身地：上平柳村

間宮海峡の発見者。

二度に渡る探検で樺太を島であることを確認した。

地域では幕府の命で利根川東遷事業に携わっており

関東三大堰の一つの

岡堰の普請を行っている。

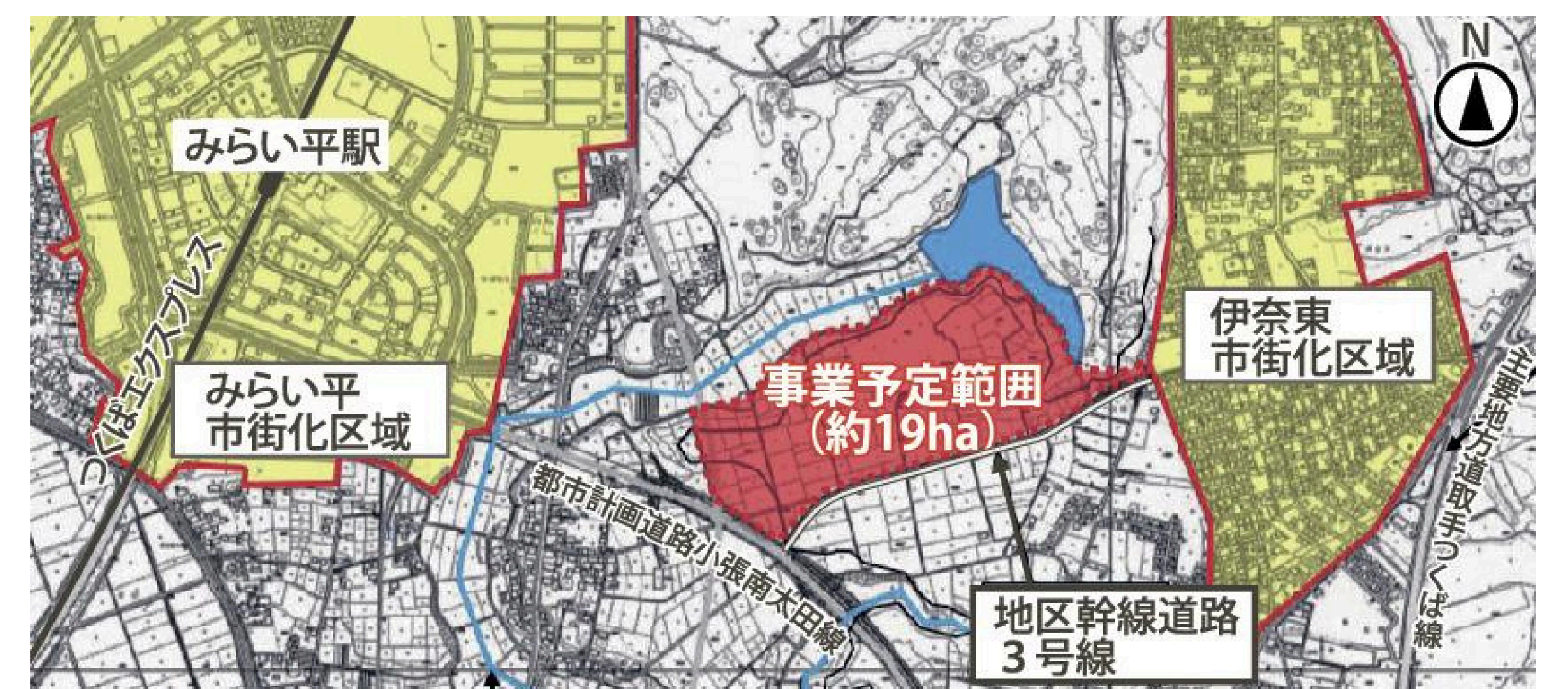


考察

つくばみらい市には交通の発達が生市の成長に大きく関わっていると考えられる。

特につくばエクスプレスの開業により都心へのアクセスが良くなり、人口や住宅地、商業施設が増えた。

そのため昔ながらの農村地域から【ベッドタウンとしての役割を持つ市】へ変化してきたと言える



参考文献

<https://x.gd/SbBVs>

<https://x.gd/YI1KR>

<https://x.gd/txT2w>